

阿智村事務事業評価シート

事務事業名	日陰地等立木補償	担当者	建設農林課	管理建設係
-------	----------	-----	-------	-------

①事務事業の概要

総合計画での位置づけ	4. 自然と共生する、便利で安全安心な村／生活環境の整備／生活基盤の整備			
関連する主な計画等				
根拠法	地元施行支障木等補償金交付要綱			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
事業の対象者	村民			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	

②事務事業の計画(PPLAN)、取組(DO)

実施目的	村道の維持管理及び交通安全上支障となる立木を地元で伐採していただいたものに対し補償を行う。特に、日陰地の立木を伐採することで道路の凍結を防ぐ。					
具体的取組	地元の皆さんが協力しあって立木の伐採					
実績・効果	道路の凍結を防ぐ事で、通行者の安全の確保が図られる。					
歳出の内訳 (千円)	項目	金額	項目	金額	項目	金額
	地元補助金	252				
事業コスト	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	実績額 (千円)	155	362	252	500	500
	うち一般財源	155	362	252	500	500
	うち補助金					
	うち個人負担					
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1	1
	臨時職員					

③評価(CHECK)

区分	個別判定	判定理由	総合判定	
必要性	住民のニーズは高いか	a	自治会等で計画的に毎年伐採を行っていてニーズは高い	A
	手段、成果は妥当か	a	地域で危険箇所の解消をしてくれており効果的である	
	対象者の設定は妥当か	a	対象者は地権者であるため妥当である	
	村の関与は妥当か	a	村道の交通安全確保のための事業であり妥当である	
有効性	期待された効果が得られたか		伐採により見通しが良くなり、また、冬期間中の凍結している箇所が解消された	A
効率性	コストの削減に努めたか	a	県の補償額の1/2であるため余地はない	A
	効率性を高める工夫はされたか	a	地域で地域の安全を考慮して労務提供により伐採をしていただいております余地はない	
公平性	受益者負担は適切か		村補償基準を超えた補償費については地元が負担	A
総合評価	A			

④改善(ACTION)

事業の方向性	継続・維持
課題	大木などの伐採や周囲の状況によっては、自治会等では困難な場合があるので、村が協力していかなければならない。
今後の取り組み	大木等で伐採に困難になる前に対処して頂けるよう啓発する。